

## フラットパネルディテクタ ( FPD : Flat Panel Detector)

当院はH27年8月に新たにX線検出器としてフラットパネルディテクタ (FPD)を導入しました。

FPDはX線を受けて、装置の内部で光に変換させてその光を電気信号で読み取ることで、従来の検出器よりも低線量かつ短時間で高画質の撮影が可能となります。

病室や処置室で行うポータブルX線撮影では、撮影してすぐにその場で画像を確認することができます。



胸部正面X線画像



頭部正面X線画像



膝関節側面X線画像

## ポータブルX線撮影 (フラットパネル モバイルシステム)

ポータブルX線撮影は患者様の病状などで撮影室への移動が困難なとき、病室や処置室へ持ち運びできるX線装置により撮影する検査のことです。ベッドで寝たままでも撮影ができ、患者様の負担を軽減することができます。当院ではポータブル撮影にもフラットパネルを使用しています。

